平成28年度(第2回)

中部アマゴルフ研修会競技

日 程：平成28年6月20日(月)

場 所：グレイスヒルズカントリー倶楽部

中部ゴルフ連盟

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則27-1)

(a) アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

(b) 現にプレーするホールにおいて、球がアウトオブバウンズの境界を越えて他のホールのインバウンズに止まっていますが、その球はアウトオブバウンズとする。

2. ラテラル・ウォーターハザード(規則26)

ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

3. 修理地(規則25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。

(a) 張り芝の継ぎ目；規則付I(A)3eを適用する。(ゴルフ規則164ページ参照)

スルーザグリーンの張り芝の継ぎ目(その芝自体を除く)は修理地とみなされる。しかしながら、継ぎ目がプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則25-1に基づく障害とはみなされない。球がその継ぎ目の中にあるか、触れている場合、またその継ぎ目が意図するスイング区域の障害となる場合、規則25-1にも続いて救済を受けることができる。張り芝の区域内のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目とみなされる。このローカルルールの違反の罰は、2打。

(b) パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤードージマーキングペイントが球のライ、意図するスイング区域の障害となる場合、規則25-1bの救済を受けることができる。(スタンスは除く)

4. 動かさない障害物(規則24-2)

(a) 排水溝

(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)

(c) 動かさない障害物と定義づけられている区域に近接し白線が引かれた区域は、修理地ではなく、その障害物の一部とみなす。

(d) 障害物によって囲まれた花壇はその障害物の一部である。

(e) 電磁誘導カート用の2本の人工の表面を持つ軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、プレーヤーはゴルフ規則24-2b(i)の救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2打。

5. パッティンググリーン上の芝張り替え跡
パッティンググリーン上の芝張り替え跡古いホールの埋め跡と同じステータスを持ち、規則16-1cに基づき修理することができる。

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 参加資格
プレーヤーは競技規定に定められた資格要件を満たさなければならない。
3. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
4. 使用クラブの規格
(a) 『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則I(B)1a』を適用する。
(ゴルフ規則176ページ参照)
(b) 溝とパンチマークの規定
『2010年1月1日施工の溝とパンチマークの仕様とその競技の条件』
(裁定4-1/1)を適用する。(付属規則II5c注2ゴルフ規則198ページ参照、2016-2017ゴルフ規則裁定集79ページ4-1/1参照)
5. 使用球の規格
『公認球リストの条件・付属規則I(C)1b』を適用する。**(ゴルフ規則177ページ参照)**
6. プレーの中断と再開
(a) 通常のプレーの中断(落雷などの危険の伴わない気象状況)については、ゴルフ規則6-8b、c、dに従って処置すること。
(b) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間に行ったときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1ホールのプレー途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則33-7に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。
(c) プレーの中断と再開の合図について
通常のプレーの中断：短いサイレンを繰り返して通報する。
険悪な気象状況による即時中断：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。
プレーの再開：1回の長いサイレンを鳴らして通報する。
7. 練習
ホールとホール間の練習禁止(規則7注2)『付属規則I(B)5b』**(ゴルフ規則181ページ参照)**
ホールとホールの間では、プレーヤーは最後にプレーをしたホールのパッティン

ググリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならないし、球を転がすことによって最後にプレーしたホールのパッティンググリーン面をテストしてはならない。この条件の違反の罰や処置は『付属規則 I (B) 5 b』を適用する。(ゴルフ規則 1 8 1 ページ参照)

8. 移動

委員会が別途認めた場合を除き、プレーヤーは、正規のラウンド中、いかなる移動機器に乗ってはならない。ただし、ホールとホール間の移動に限り乗用カートを使用することができる。プレーヤーが前のストロークをしたところから次のストロークをする場合と規則 1 1-4、1 1-5、1 5-3 と 2 0-7 c にしたがって誤りを訂正する場合はその処置のために往復の範囲内において乗用カートを使用する事ができる。この条件の違反の罰や処置は『付属規則 I (B) 8』を適用する。(ゴルフ規則 1 8 3 ページ参照)

9. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰や処置は『付属規則 I (B) 2』を適用する。(ゴルフ規則 1 7 9 ページ参照)

10. スコアカードの提出(裁定 6-6 c/1)

スコアリングエリア方式を採用する。

11. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格とする。

12. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

13. 競技の成立

本競技の参加者全員が正規ラウンドを終了できなかった場合、委員会は競技成立について別途定めるものとする。

注 意 事 項

1. ローカルルールや競技の条件に追加、変更のあるときは、スターティングホールのティーインググラウンド付近に告示する。
2. 競技の条件 1 1 項で規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合は、ペナルティを課す。
4. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
5. 練習は指定練習場にて行い、打ち放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 人 1 コイン (2 0 球) を限度とする。
6. ティーマーカーは黒色とする。
7. プレー中、帽子 (バイザー可) を着用すること。
8. 中部ゴルフ連盟ならびに会場クラブの服装規定を遵守すること。
9. コース内は、携帯電話の使用をしないこと。

追 記

1. ハウス食堂（朝食）は、午前6時00分よりオープン。
2. 練習場は、午前6時00分よりオープン。
3. 昼食はハウス食堂およびコース売店を利用のこと。
4. バッグは口径9.5インチ、重量は13キロを超えないこと。

競技委員長 泉 憲 一